



加盟各単組・組織のリーダーからの

男女平等参画・多様性推進に係るメッセージ

JR連合(日本鉄道産業労働組合連合会)



会長
上村 良成

「強くしなやかなJR産業」の創造に向け、
男女平等参画・多様性推進に取り組もう！

JR産業の男女平等参画・多様性推進に向けた、JR連合に加盟する各単組・組織のリーダーからのメッセージをお届けします。

JR産業は宿泊が伴う早朝・深夜勤務が避けられず、女性の深夜労働が法律で禁じられていた経緯もあり、女性比率は未だ低く、改めて「男女平等参画」を強く推進する必要があります。また、産業の持続的発展に不可欠な人材確保に向け、JR特有の不規則勤務の改善・解消を図り、男女を問わず多くの組合員が長く柔軟に働ける「多様性」のある環境整備が必要となります。そのためにも現時点では女性比率に達していない女性役員比率を高めるべく、積極的な女性役員登用・育成の推進が求められています。こうした活動を通じて「強くしなやかなJR産業」の創造に、ともに取り組んでいきましょう。

第4次男女平等参画行動目標

＜JR連合としての取り組み状況＞

1. 執行機関における女性役員比率
 - ・第33回定期大会(2023年6月)で執行部に女性執行委員(1名)を登用。
 - ・16名中1名(約6%)のため、JR連合の女性比率約16%には及ばず
2. 各種議決機関への女性参画率
 - ・大会における代議員、中央委員会における中央委員の女性比率は、それぞれ16%以上のため、目標達成
3. 男女平等参画推進に関する取り組み
 - ・各種委員会等についてはWEBを活用したハイブリッド型が定着

JR北労組



中央執行委員長
人見 圭一

安心して働き続けることのできるJR産業を築くため、ジェンダー平等を推進し、互いに支え合うことのできる職場の実現をめざします。

JR北労組は、JR連合とともに「男女平等参画」をはじめ「真の多様性」に向けた取り組みを推進していきます。

イーストユニオン



中央執行委員長
小林 徹志

性別に関わらず、互いの個性を尊重し、理解と認め合いが新たな価値を生む。ともに考え、行動し、誰もが平等に参画できる未来を創造し、築きましょう。

イーストユニオンは、JR連合の方針にもとづき、男女平等・多様性推進に向け取り組みます。

JR東海ユニオン



中央執行委員長
鎌田 隆司

JR東海ユニオンは、多様性を重視した機関運営でこそ、諸課題の解決が図られると考え、ダイバーシティ推進運動に取り組んでいます。

誰もが安心して意欲を持って長く働き続けられる「ハートフルカンパニー」をめざして、『ONEチーム』となって取り組みよう！

JR西労組



中央執行委員長
羽野 敦之

JR西労組は、誰もが活き活きと働き続けられるよう、1人でも困っている組合員の声に耳を傾け続けます。

そして、女性参画を広げ、多様な力を発揮できる環境とすべく、すべての仲間とともに挑み続けていきます。

JR四国労組



執行委員長
中村 鉄平

JR四国労組では、すべての組合員が、誇りを持ち安心して働き続けられることのできる環境実現にむけ、「仕事における男女平等参画の実現」「男女双方のワークライフバランスの実現」をめざし、男女平等参画を積極的に推進しています！ともに頑張りましょう！

JR九州労組



中央執行委員長
吉田 祥司

誰もが輝ける職場をつくるためには、JR九州に関わるすべての人が自分ごととして取り組みに参画していくことが必要です。

お互いに認め合い、誰もが個性や魅力、能力を発揮できる風土をめざします。組合活動にも、多様性を意識した取り組みを強く要請します。

貨物鉄産労



中央執行委員長
辻村 和裕

JR各社において、現場で働く女性社員が圧倒的に少ないのがJR貨物です。

他社に比べ職場環境整備が遅れており、一刻も早く改善し、女性が活躍でき、どの分野にも進出できるよう、JR連合とともに取り組みを図っていきます。ともに頑張りましょう。

JRグループ労組連絡会



代表幹事
海上 弓彦

私たちJRグループ労組連絡会は、多様な業種で構成されています。だからこそ、男女平等を力強く推進してまいります。

また組合活動では、男性中心の活動を改革し、女性の参画を増やしてまいります。今こそ、グループ全体で男女平等参画を推進していきましょう。

青年・女性委員会



議長
高杉 恭平

私たちJR連合青年・女性委員会では、「青年・女性役員研修会」などの活動を通じ、若手の視点からも、男女平等参画と多様性の推進に取り組んでいます！

今後も様々な活動を通して、誰もが活躍でき、皆が輝ける職場を一緒に築いていきましょう！